

教育

◆ざりり！ 論語検定に挑戦！

市内義務教育学校の児童は、毎年漢字文化振興協会「湯島聖堂漢文（論語・漢詩）検定」に挑戦しています。論語初級に3年生が、論語中級に5年生が挑みます。初級は、提示された10篇から出題された5篇中、3篇を朗誦できたら合格です。また、中級は、20篇が提示され、朗誦と筆記試験でそれぞれ6割以上できたら合格です。昨年度の合格率は、初級99・4%、中級91・8%でした。今年で8年目を迎えます。「多久の雀は論語をさえずる」のように、多くの子ども達が論語に親しんでいる様子がうかがえます。

◆ALT(外国語指導助手)の紹介

生きた外国語や外国の文化に触れ、児童・生徒の英語のコミュニケーション能力を向上するため、ALT2名(東原庁舎中央校にワイナンド・スミット先生、東原庁舎東部校／西溪校にマイカ・キリアン先生)を配置しています。

英語の授業だけでなく、昼休みの英語放送なども、子どもたちに大人気。児童生徒との会話や、母国の文化の情報提供などで国際理解が深まっています。



▲ワイナンド先生(左) マイカ先生(右)

今月の論語

其の善かざる者にして

之を改む

よくない人を見たら、自分の反省材料にすればよい。

今月の帰宅放送は、東原庁舎西溪校9年 おおいで 玲奈さん(多久町)です

問い合わせ 学校教育課 学務指導係 ☎75-2227

教育長コラム

ちよっといい話



「生きる力」

驚いた。赤いランドセルから左手がよつきりそびえ立っている。義手だとわかっていても仰天させられた。机の引き出し、ロッカー、どこからもはみ出した。生まれつき左腕が一部しかないMちゃんに、入学時に作られたものだった。しかし、活発なMちゃんには暑いし煩わしい。

学校は、他の子への指導について研修し、全校で人権教育に取り組んだ。その教職員の心配をものとし豪快な振る舞いに、安心して感心した。

ある日Mちゃんが帰らない。寄り道。発見時の父親の怒鳴り声たるや凄まじく、命をおろそかにするな、人様に迷惑をかけるなと容赦なかった。子育ての姿勢が伝わった。

縄跳びの授業を案じていたら、またもや仰天。「ちよっと持って」と人に片方を持たせ、自分は右だけ持って涼しい顔で縄を跳んだ。たくましさを教えられた。

教育長 田原 優子

市民文芸

あるがまま生きる私に 関白亭主
悲喜こもごもの 介護人生
梶原恵美子

黎明を新聞配る靴の音
窓を開けば 秋気清けき
浦野 嘉恵

生ゴミを いけし土より 南瓜生い
健気に黄の花 十余り咲く
川浪 信子

食べものに 目のない夫は パクパクと
胃腸の叫び 耳にも達せず
福島那智子

上弦の月のぼりいる 近年の
天候異変を はらむ赤さに
尾形 節子

桔梗や 足にやさしい 宿の下駄
秋寂ぶや 古稀よ 喜寿よと 束の間に
富樫 明美

朝顔の むらさき 開く 昆明かな
中嶋 清子

どどどんと 花火を 過ぐす 郷の夜
武富 律子

渡り来る 風 招き入れ 涼新
倉成 皓二

健康な足が徘徊して 困る
田中あつ子

物忘れ 笑っておれぬ 事も 増え
松下 修

健康で 豊かな 未来 期待する
高塚ちかこ

気合入れ 健康談義 縄のれん
西山 残月

愛した人 風の便りで 父となり
大谷 和